

保健師だよ!

健診を受診しましょう!

今年も小郡市の特定健診、がん検診がはじまりました。自分の健康状態をチェックするためにも、対象の人はぜひ健診を受診しましょう!

そこで今回は、平成25年度小郡市特定健康診査の結果と健診結果の見方をお知らせします。

平成25年度小郡市特定健康診査の結果(40~74歳)

(対象者数: 9,421人 受診者数: 3,356人 受診率: 35.6%)

病気の予防段階	人数	割合
1次 発症を予防する段階 全ての健診項目が正常の人	237人	7.1%
2次 早期発見・治療をする、血管の変化を予防する段階	1,344人	40.0%
3次 発病後、進行を抑制し、重症化や再発を防ぐ段階 健診項目のうち1つでも受診勧奨値以上の項目がある人	1,775人	52.9%

健診を受診した人の半数以上で何らかの異常が発見されています



健診では、何を調べているの?

健診の血液検査では、次の項目を調べています。

項目	調べること
BMI	身長と体重から計算する、肥満の目安
腹囲	内臓脂肪型肥満かどうかを判定
中性脂肪	血液中の脂肪の量を測定
HDLコレステロール	動脈硬化を抑える善玉コレステロールの量を測定
LDLコレステロール	動脈硬化を促進させる悪玉コレステロールの量を測定
空腹時血糖	血中のブドウ糖の量を測定
HbA1c(NGSP)	1~2か月間の血糖の状態を示す
血圧(収縮期血圧) (拡張期血圧)	血圧値によって心臓が正常に働いているか、血管壁への影響による動脈硬化の危険度をチェック
AST(GOT)、ALT(GPT)	肝機能の指標となる酵素。肝細胞が壊れると血液中に増加
γ-GT(γ-GTP)	肝臓や胆のう障害の指標。アルコールによる肝障害の手がかり
尿酸	血液中の尿酸を測定し、痛風や尿路結石の危険性をチェック
血清クレアチニン	腎臓からの老廃物の排泄機能を知る目安

※項目ごとに、保健指導が必要な「保健指導判定値」、医療機関での受診を勧める「受診勧奨判定値」が定められています。基準値などは、健診結果に記載していますので、健診結果をご覧ください

検査値は一つひとつを個別にみるのではなく、全体をみて総合的に判断する必要があります。一つひとつがたとえ軽度の異常でも、それらの重なりによって動脈硬化を相乗的かつ急速に進行させて、心筋梗塞や脳卒中などの深刻な病気を引き起こす確率が高くなります。

「健診は受けて終わり」ではありません

生活習慣病予防のため、その後の保健指導を活用しましょう。保健師や管理栄養士が健診結果の見方について説明するとともに、生活習慣の改善について一緒に考えていきますので、ぜひ健康相談室へお越しください。

あすてらす健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。お気軽にお越しください。☎72-6467
毎週月~金曜日 午前9時~11時/午後1時~4時(あすてらす休館日を除きます)

●問合せ先 健康課健康推進係 ☎72-6666